

世界を 広げる

Horibata

多様な価値観や生き方に出会う

ライフキャリアデザイントーク

ホリバタでは、「世界を広げる」をコンセプトに、多彩な人や多様な分野と出会える機会を作っています。

その一つ「ライフキャリアデザイントーク」は、ゲストとホストの1対1のトークイベントです。ゲストの仕事やキャリア、悩みや迷い、思考や決断など人生を深堀りしていきます。

トーク25 - 牛島 光春 さん



松山市在住。13歳からギターを始める。クラシックギターを貞本昌規氏、上野芽実氏に師事。第20回ギター音楽大賞(H5)で第3位、第67回九州ギターコンクール(R5)で第1位を獲得。現在、会社員とギタリストの二刀流で活動中。

■トーク25 - 牛島 光春 さん

(ギター奏者/坊ちゃん劇場営業部マネージャー)

📅 9月11日(金) 午後6時30分～8時

📍 青少年交流センター ホリバタ



■トーク26 - 佐藤 純一 さん

(デザイナー/建築家/Utility Works代表)

📅 10月16日(金) 午後6時30分～8時

📍 青少年交流センター ホリバタ



トーク26 - 佐藤 純一 さん



神奈川県生まれ、九島在住。単身渡米後、名門のロードアイランド・スクール・オブ・デザインで芸術や建築を学ぶ。世界各地で建築デザイナーとして活躍後、宇和島に移住。現在、世界各国のアーティストたちが滞在する活動拠点を運営。

無料で誰でも観覧できます。ぜひお越しください。

📍 青少年交流センター ホリバタ

☎ 49-7112

✉ horibata@city.uwajima.lg.jp



同じ志の下に



日々是 宇和島

(101)



先日、本市で「四国地域福祉実践セミナー」が開催され、四国内を中心に実践的な取り組みを知り、習得したいと考える有志約450名が集いました。

少子高齢化による人口減少が進む中、そう遠くない2040年には、1970年前半に生まれた団塊ジュニア世代が65歳以上となり、高齢者数がピークに達することであるゆる社会課題に直面するだろうと言われていた、いわゆる「2040年問題」に対して、地域福祉の実践者による事例紹介や意見交換など、活発な議論が交わされました。

私はシンポジウムに登壇し、平成30年7月豪雨を事例に平時から人間関係やまちづくりを構築しておくことの重要性「「フェーズフリー」について意見発表しました。これは「いつも(平

常時)」と「もしも(災害時)」の「フェーズ(局面)」を「フリー(分けることなく)」にして、普段の暮らし・商品・サービス・まちづくりがそのまま災害時にも役立つように設計・運用する新たな防災の考え方です。その後の登壇者の話も大変興味深く、参加者は終始真剣なまなざしでメモを取っていました。

このセミナーで議論された内容が、それぞれの地域で素晴らしい成果につながることを期待します。

